議会だより おがわ

チェック・アンド・バランス



さらなる防災力の向上を

町民の声を町政に12人が一般質問 P.6

No.78
2016.2.1

町立武道館での寒稽古

防災特集

平成27年度重点項目

安心安全の創造

さらなる防災力の向上を



今年度、消防団に新車両１台を配備

平成27年
12/2-12/11
12月定例会

昨年９月の大雨は各地に甚大な被害を及ぼしました。当町の被害は比較的少なかったものの、埼玉県等が発表した土砂災害警戒情報を受けて、町制史上初めての避難勧告が発令されました。

今議会では、先の大雨の災害復旧に係る予算や中央陸橋の耐震補強ほか２橋の補修工事など、関連する議案を審議。主に、それらのやり取りをお知らせします。

今定例会は、平成27年度一般会計及び各特別会計の補正予算をはじめ、課設置条例の一部改正ほか各条例の制定・議員提出議案・人事案件など16件を審査。全て原案のとおり可決・同意しました。

なお一般質問には12人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。



町の緊急輸送道路に指定されている中央陸橋（町道109号線）

中央陸橋耐震補強工事
工事履行期間に無理はないのか

問 当初、中央陸橋単独での耐震補強工事とのことであったが、入札が不調[2]に終わり、今回、改めて2橋の補修工事をつけ足した形での入札となった。工事履行期間が今年度末とのことだが、無理はないのか。

答 当初の予定から1ヵ月遅れてしまいましたが、落橋防止装置の製作に2ヵ月、設置に1ヵ月、合わせて3ヵ月あれば可能な工事です。

問 落橋防止装置を外注によって仕入れるため、原価率が高く利益の少ない工事であると察する。それらが原因で入札が難航したのでは。

答 ご指摘の件も理由の1つだと考えています。今回のような外注での製作が多い工事においては、県内でも不調となっている案件があるのが事実です。

問 本来ならば、追加された2橋の補修工事は町内業者が請け負うものと考える。関連の町内業者は、自然災害等の有事の際にも不可欠な存在であり、育成という観点からも2橋の補修工事を分けて発注という選択肢はなかったのか。

答 確かに分けて発注するという形を取れば、町内業者も入札に参加できたと思います。今後、予定している橋脚等の耐震・補修工事は、町内業者で対応していただけるものと考えています。

平成27年度一般会計補正予算
9月の大雨の影響

問 当町での被害は。

答 当町では、床下浸水3棟・のり面[1]の崩壊4件・倒木6件などが発生しました。また町道119号線の土砂崩れや、町道の未舗装部分の路面が激しい水の流れ等で削り取られました。すでに復旧は済んでいます。



下里地内町道119号線（9月9日撮影）

平成27年度一般会計補正予算
ため池の耐震診断実施しないのか

問 当初予算の中で、町の重点項目として掲げられていた事業である。財源で見込んだ国の補助金が得られなかったからといって、「実施しない」ということでいいのか。

答 今回、国の方針がなかなか定まらず、結果的に補助金が得られませんでした。それは、当町だけでなく嵐山町・滑川町においても同様です。今後、同内容の新たな補助を得るために、予算要望の手続を始めています。



ため池16ヵ所の耐震診断見送り

[1] 斜面の上部または下部に、人間が生活に利用する空間をつくり出すためにつくった斜面をいいます。斜面をつくることによって構造物を支えています。

[2] だれも入札者がいないため、落札者が決まらないことです。

平成27年度 一般会計 補正予算（主な質疑）

学童クラブ 現状と今後

問 今回、みどりが丘小学校区の杉の子学童クラブは、小学校の余裕教室を活用して規模を拡大するようである。背景と今後の見通しは。

答 来年度の希望者数が70人を超えるとの見込みの中で、教育委員会・学童クラブとの話し合いで決定しました。学童クラブとして使用するために必要な補修費です。今後は、平成29年度をめどに放課後子ども教室の開設を視野に入れた中で、見守っていきます。

問 学童クラブの開所時間延長に係る補助金が使われずに減額となっているが、その理由は。

答 開所時間延長支援事業費は、補助金の申請のタイミング等に課題があります。また、各クラブを運営している保護者会では、経理等の事務の煩雑さがあるので、手を挙げることが難しいという背景もあるようです。

東中学校 緊急営繕工事

問 具体的にどのような工事を予定しているのか。

答 ①渡り廊下の錆びついた鉄骨の補強と塗装 ②雨漏りがひどい体育館ギャラリーのサッシの改修 ③雨水が流れ込んでしまっている下水道流入管の改善工事を行ないます。



雨漏りなどの修繕が行なわれる東中学校体育館

高齢者介護 介護予防事業は

問 今後、介護の総合事業を支える生活コーディネーターの役割は。

答 今までは、状況に応じて施設に入所したり、病院で対応していました。今後は介護から予防事業に重点を置き、その事業の一環として地域の支え合いの推進ということで、ボランティア等で介護予防運動等を行ないます。

条例の制定改正（主な質疑）

農業委員会に関する条例 新しい農業委員会制度へ

問 公選制から選任制となるが、透明性は担保されるのか。また、年齢や性別等に配慮したバランスのとれた人選がかなうのか。

答 公募期間中に、公募状況や候補者一覧の公表を行ないながら、透明性を図ります。

また、選任にあっては、認定農業者の多用とあわせて、若い世代や女性委員の登用にも配慮するよう方向性が示されています。評価委員会において、それらを網羅する中で選任ができればと考えています。

問 農業委員会内に「農地利用最適化推進委員」という新たな役職が設けられる。どのような役割・活動を担っていくのか。

答 現場での活動に特化した委員の立ち上げを行なうことで、よりきめ細やかな対応がかなうものと理解しています。また、一定の地区や担当割りを行なう中で、当地の抱える課題等を早期に把握することができます。名称・役割の変更はありますが、農業委員と共同して作業いただくことになろうかと考えています。

課設置条例 機構改革による影響は

問 どのような考えからの変更か。

答 地方創生と事務の効率化の観点から、各課の意見をもとに考えました。しかし、この改正が終局点ではなく、これからの情勢の変化に伴う変更は必要であると考えています。

問 「事務の効率化」とはいうが、各種サービスの質と量の低下は起きないか。また、住民に不便をかけることはないのか。

答 住民サービスが低下しないように、適切な対応ができる体制にしていきます。

また、事前に町の広報でお知らせし、庁舎内の案内も含めて不便をかけないような対応をしていきます。

問 総合案内業務と町民からの相談を直接受けてきた「生活あんしん室」がなくなると、町民が困るのでは。

答 各種相談の受付と案内業務等は、政策推進課が担当します。その他の業務等は、所管課に再編して対応します。



統合される生活あんしん室

審議議案と議員の賛否

議案名＼議員名	笠原 武	井口 亮一	笠原 規弘	田中 照子	高瀬 勉	山口 勝士	高橋 さゆり	松本 修三	金子 美登	松葉 幸雄	大戸 久一	島崎 隆夫	柴崎 勝	宮澤 幹雄	戸口 勝	根岸 成美	審議結果
個人番号の利用に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
農業委員会の委員の定数に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
課設置条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
税条例等の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成27年度一般会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成27年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成27年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
小川中央陸橋耐震補強外２橋補修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
小川町議会会議規則の一部を改正する規則制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します



次ページ

町政をただす

一般質問とは、議員が町の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では,12人の議員が一般質問を行ないました。

小川和紙

ユネスコ登録後1年が経過したが

関係各課と協議し方向性を示します

「安心してください！」って言えますか？



戸口　勝 議員

質問 小川和紙の方向性を示すのに「第一線で活躍する和紙職人が2人しかいない」や「和紙体験学習センターを町直営にして間もないので」との答弁は前向きではない。小川和紙発展に必要なこととは何か。

答弁 産業観光課長　戦前から現在に至るまで、手すき和紙の商慣行として「生産をするもの」「発注を受けるもの」「納品をするもの」それぞれに問屋を経由します。共同生産・共同販売ができないものか、模索をしていきたいです。



発達障害に対する取り組み

質問 私たち社会は、発達障害を持つ子どもたちを受け入れるだけの対応力と、それに伴う情報を持っているのか。我が子に、発達障害の疑いを感じる親への対応は万全か。さらには、疑いを持たないまま叱れば治ると思い、DVへ向かう傾向も少なくないと聞く。この問題をどのように考え、どういう体制で取り組むのか。

答弁 学校教育課長　子育てに不安を感じている親に対してきめ細やかな相談を行ない、また障害がある場合には早期に我が子への障害受容を促します。その後の円滑な保育・教育につながる連続した支援を行ない、早期発見を目指します。

男女平等？
ジェンダーギャップ
145ヵ国中 101 位



田中照子 議員

一億総活躍推進

女性が輝く社会に向けた取り組みは

女性が活躍できる体制づくりを推進します

質問 結婚・妊娠・出産・育児の具体的支援策は。

答弁 子育て支援課長　3月に策定の「子ども・子育て支援事業計画[3]」をもとに、当該所管課が推進します。平成31年度目標の保育サービス「一時預かり保育は現在の2ヵ所を3ヵ所に、延長保育実施は4ヵ所を6ヵ所に、病児・病後時保育実施を1ヵ所」に取り組みます。計画策定に当たり、事前実施したアンケート（育児休業未取得で離職した女性47％）に関しては、5年ごとの計画の見直しを図る中で実施・把握します。


頑張る子育て家族

質問 学校での男女平等教育（両性の理解）、育児教育の計画・実施は。

答弁 学校教育課長　小学校高学年で道徳・社会・保健体育・家庭科で「男女の平等や協力、女性の地位向上・体の成長・家族の役割」を、中学校は特別活動・保健体育で「男女の相互理解・望ましい男女交際等」を、育児教育は3年生全員が、技術・家庭科で育児に関する学習と保育園での保育実習（幼児）を計画・実施しています。

質問 役場職員の男女比率と、管理職の男女比率は。

答弁 総務課長　職員は269人で、男性59・5％、女性40・5％、主幹以上の管理職は50人で、男性80％、女性20％です。男女に限らずその人の持つ能力を大切にします。また、女性対象の研修会参加を積極的に促します。

その他の質問

◎18歳の1票に向けての1票に向けて
◎小川町創生総合戦略

観光事業の取り組みは

質問 仙元山を町民の協力を得ながら、桜いっぱいの山にしたらどうか。

答弁 産業観光課長　現在、新たな植栽をする敷地もありませんが、眺望に支障を来さない、四季折々の花木の植栽について検討していきます。

質問 古寺鍾乳洞は、貴重な自然の贈り物である。公開できないか。

答弁 生涯学習課長　貴重な県指定の文化財として、1日も早く本格的な学術調査が行なわれるよう、関係機関と検討していきます。

質問 町には貴重な戦跡（防空壕）があり、このままでは修復整備が不可能になる。整備を行ない保存し、見学ができないか。

答弁 生涯学習課長　崩落の危険性があり、見学については考えていません。


古寺鍾乳洞

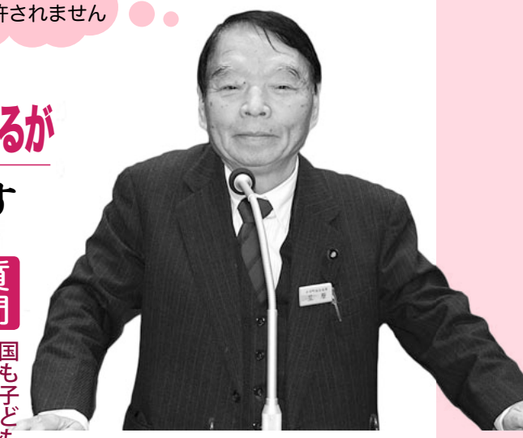
[3] 新制度の施行に伴い、町では平成27年3月に「小川町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。ホームページでごらんいただけます。

世代を超えての
子どもの貧困は許されません

子どもの貧困

子どもの将来が環境に左右されてはならないと考えるが

適切な対策を講じられるよう努めます



笠原　武 議員

質問 国も子どもの貧困については問題視し、「対策についての有効な情報提供をする」と言っているが、あったのか。それに対する町の適切な体制の構築はできたのか。

答弁 子育て支援課長　今のところ情報提供はありません。国などから今後示される有効な情報提供をもとに、適切な対策を講じられるよう努めたいと思います。

障がい者福祉

手話言語法の制定に向けた取り組みは

多くの方に手話等の理解をしていただくよう努めます

必要な配慮と支援は

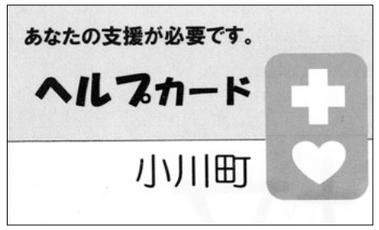


井口亮一 議員

質問 全ての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、「障害者差別解消法」が、平成28年4月1日に施行される。町はどのような準備をしているのか。

①行政機関が講ずるべき、差別を解消するための措置とは ②町として、対応要領は作成するのか ③対応要領に対する町民からの意見は聞くのか ④「障害者差別解消支援地域協議会」の計画はあるのか。

答弁 福祉介護課長 ①相談及び紛争防止等のための体制の整備として、「相談窓口を明確にしていくこと」「対応する職員の業務の明確化」「専門性の向上」が必要です ②対応要領の作成は努力義務ですが、職員の適切な対応への理解を求めるために関係部署と検討していきます ③町民から広く意見を求めるのがいいのか。また、障がい者やその他の関係者から意見を聞くのにとどまるのか、検討していきます ④「現在ある自立支援協議会等と兼務できるのか」「新たに障害者差別解消支援協議会を設置すべきか」を郡内の動向を見ながら検討したいと考えています。



障がいの理解や助けを求めるツール

その他の質問

◎平成28年度予算の編成に向けた基本方針

重点施策の子育て支援は最優先でやらなきゃね！



髙橋さゆり 議員

子育て支援

アプリを活用した情報発信は

順次進めてまいります

質問 近年、自治体でアプリ4の活用が進んでいるが、考えは。

答弁 子育て支援課長 子どもの予防接種の日程等をメールで知らせるシステムの導入をする動きが広がっています。予防接種の日程だけではなく、乳幼児健診や子育てに関する情報等も配信するなど工夫をし、順次できることから進めていきたいと考えています。

質問 全国の児童相談所に寄せられた平成26年度の児童虐待の相談件数は過去最多となった。町の現状と取り組みは。

答弁 子育て支援課長 平成26年度は24件で、前年度比9・1％増でした。相談の経路としては、乳幼児健診・児童相談所・小中学校の順になっています。虐待の発生予防・早期対応などのために、要保護児童対策協議会の取り組みを強化しています。

質問 保育園の待機児童が問題になっているが、現状は。

答弁 子育て支援課長 産休・育休明けの6ヵ月児以降の乳幼児の受け入れについては、町内の保育園は、受け入れることができない状況となっています。今後、低年齢児の利用希望は増加するものと考えられ、その対策が必要になると思います。



予防接種が始まった2ヵ月児

4 いわゆるソフトウェアのこと。正式名称は「アプリケーションソフトウェア」です。

子どもたちのポテンシャルを引き出そう

教育

「全国学力・学習状況調査」公表の理由は

情報の共有が大切と考えています



笠原規弘 議員

質問 「全国学力・学習状況調査」を公表することになった理由は。

答弁 学校教育課長 学力の向上は、家庭の理解・協力があってこそ、達成できるものと考えています。そのためには、客観的な結果を共有することが大切です。学校や教員の評価をするためのものではなく、冷静に分析し効果のある授業改善に結びつけ、連動した家庭学習を進めていきます。

質問 個別の学力に即した指導はされているか。

答弁 学校教育課長 個別の成長を追求する指導を行なっています。各学校に少人数指導を行なうための加配教員を配置し、ティームティーチング指導・生活サポート職員による学習支援の必要な児童に対し個に応じた指導・小1問題5対応非常勤講師を配置しての指導などです。



ティームティーチング指導

質問 生徒が希望する部活動がなかった場合の対処は。

答弁 学校教育課長 全ての生徒の希望に沿えないことは心苦しく思っています。自校にない場合でも、個人として中学校体育連盟の大会には参加できる旨を説明し、参加希望の有無を確認しています。

質問 他校との部活動の連携や統合を求めるが。

答弁 教育長ほか 一部ですが、合同で練習や大会に参加している部活動もあります。しかし、積極的にとなると移動中の安全面や練習効率を考慮しなければならず難しいと考えています。生徒や保護者の要望に応えられるよう、引き続き校長や関係者から意見を聞いていきます。

5 小学校に入学したばかりの1年生が、「集団行動がとれない」「授業中に座っていられない」など、新たな環境の学校生活になじめない状態が続くことです。

まちおこし

「和」のプロジェクトの展開を

住民主体・参加型など検討します

「和」のつながりで、いろいろできたらすごい！



山口勝士 議員

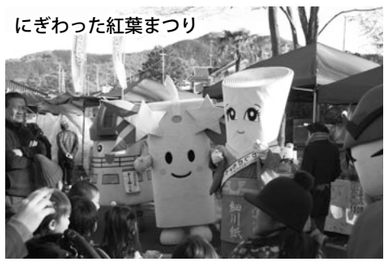
質問 細川紙を核とし、小川和紙を中心に「和」としての素材、人を集める魅力、題材をつなげる「和」のプロジェクトの展開は。また、そこに多くの住民の皆さんの力を生かし、らせん状の展開はできないか。

答弁 政策推進課長 和紙・木工建具・酒蔵などの伝統産業に町内外から大きな関心を集めるようになり、各イベントには多くの来場者を数えるようになりました。栃本親水公園での「紅葉まつり」など、地域にある個々の素材やさまざまな魅力を醸し出したイベントが増えてきています。行政の力だけでなく、関係各位や個人的なグループ・団体等の提案をしっかりと受けとめ、形式にとらわれない住民主体・参加型など、検討したいと思います。

「定住促進」具体的な施策の検討を

質問 若年層に当町に住み続けてもらうには、単純に方法は3つ。「今住んでいる家に住み続けてもらう」「家をつくってもらう」「家を買ってもらう」ことである。この「家」という点に明確に焦点を当てての具体的な施策は。

答弁 都市政策課長 マイホーム取得助成・新たな宅地分譲施策など、いろいろな施策が考えられますが、財政的な負担の大きな事業については、すぐに取り組むことが難しい状況です。農家用住宅バンク[6]を一般住宅空き家と一元化し、「小川町空き家バンク」とするなど、まず空き家の利用から今まで以上の充実を図るよう、関係各課と取り組んでいきます。



にぎわった紅葉まつり

危険な道路の早期改良整備を望む！



松本修三 議員

まちづくり

県道・町道の早期改良を望むが

適切な方法を鋭意検討します

質問 県道飯能寄居線の交通量の増加により、青山地内の車道・歩道が狭く急なカーブで事故も多い。早期の整備を望むが。

答弁 建設課長 県道飯能寄居線については、平成21年度に車道、平成25年度に歩道整備を県に要望しています。引き続き、早期の整備が進むよう地域の現状を伝え、県へ働きかけを続けていきます。

質問 町道119号線は、当町から嵐山町・ときがわ町への通勤道路でもある。また、訪れる人たちのためにも早期の整備を進めるべきである。地元要望により、平成19年12月議会にて、請願も採択されたが、なぜ8年間も放置されているのか。

答弁 副町長ほか 当該場所の山側は急な崖地が続き、反対側は河川の急な護岸であり、拡幅工事には多額の工事費が必要となり、現在の財政から見ると困難です。また請願の採択を受け、何も進んでいないことに執行部として重く受けとめています。工事の手法・安全性・財源の関係等含め、どのような方法が適切か、鋭意検討していきます。



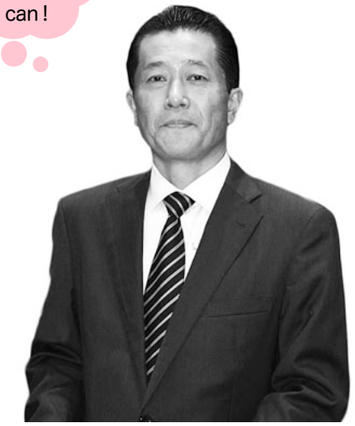
青山地内飯能寄居線

まちづくり

「きょうどう」のまちづくりをしてほしいが

現状を見極め、考えたいと思います

時代に合った「きょうどう」の仕組みをつくっていきましょう。Yes, we can！



島﨑隆夫 議員

質問 和紙に関係する方々との共同として、もっと積極的に関わってほしい。小川和紙をオリンピック等の国際大会で使用してもらう努力や、アーティストにさまざまな形で取り入れてもらうような手法はできないか。

答弁 産業観光課長 県の担当課からの情報をいただきながら、和紙関係の方々とも情報交換を行ないます。また、和紙を用いた作品づくりを支援し、和紙文化の創造・振興・啓発につなげたいと思います。

質問 町内企業との共同として、小中学生に親子で企業訪問・見学をしてもらい、町民に向けて発表をする。同時に双方向での情報発信をして関係を深め、さらに発展してもらうようにしてはどうか。

答弁 教育長ほか 教育課程としては難しいですが、「社会体験チャレンジ事業」等を映像にして発信することを研究したいと思います。

質問 自治会・行政区との協働として、積極的に地域に出向き指導し、協力を求めていくことをしなくてはいけないと思う。そこで、「ごみの分別などを映像化して配布」「道路愛護」「地域の維持の手法を伝える」「健康増進の指導者をつくる」など、区長や地域の方にもっと丁寧に説明していく必要があると思うが。

答弁 健康増進課長ほか 今後、さらに地域との関係を構築していきます。

質問 小川高校との共同を進めてほしいが。

答弁 生涯学習課長 体育施設の相互利用はできています。今後、駅北側整備に向けて協議を進めていきます。



農地での共同作業

[6] 農林業従事者などの定住を促進し地域活性化を図るため、農家用住宅及び住宅用空き地などの物件を登録し、希望する方たちへ情報を提供するものです。

合併60周年

新たな視点でのまちづくりを

明るいまちづくりに努めます

小川町も還暦ですね



髙瀬　勉 議員

質問 ふるさと納税とクラウドファンディングの仕組みを合わせた「ガバメントクラウドファンディング」を活用した特定事業の実施は。

答弁 政策推進課長
内容として、自治体が実施したい・応援してほしい特定の事業に対し、インターネットを通じて広く不特定多数の人から賛同を募り、ふるさと納税という形で資金調達をする方法と認識しています。実施する場合、事業の選定や制度設計など、慎重な判断が必要であると考えています。

質問 新装開店した「ヤオコー小川ショッピングセンター」等の民間施設を活用した公共サービスの拠点化や、コスト削減等は。

答弁 政策推進課長
今後の行政サービスの提供は、民間施設を借りるなど財政負担の軽減につながるものは、積極的に検討します。また、公共施設の統廃合・更新については、官民連携での複合施設等の建設も考えていきます。

質問 新たな観光の手法としても注目されている「フォトロゲイニング7」の開催を。



合併60周年記念DVDから

答弁 産業観光課長
近隣では、「寄居町がイベント業者の協力を得て実施した」と聞いています。当町においては、「どのような地域」で、「どのような団体」が行なえるのか、その方法を研究します。

まちづくり

健土・健食への取り組みは

各協議会を通じて啓発していきます

健土・健食、地産地消のまちづくりを進めよう



金子美登 議員

質問 国の医療費総額は約40兆円で、国家財政を圧迫する状況にある。また、今は何が原因か特定できない病が大半と考える。そこで次の4点を伺う。
①予防医療への考え方は　②下里地区のように、他地区も良質な堆肥づくりができる体制を組めないのか　③学校給食に有機農産物を導入できないのか　④和食で地産地消を当町の売りにするためにも、学校で食農教育をできないか。

答弁 健康増進課長ほか
①幼少期に培われる味覚や食事の嗜好は、成人後の食習慣に影響すると考えられます。そのために町では乳幼児健診や相談、離乳食教育等の事業を行なっています　②農家の環境保全型農業への取り組みについて、有機農業推進協議会や転作集団連絡協議会等を通じて啓発していきます　③現在は特定した発注を行なっていませんが、今後「小川町有機農業推進協議会」等の場で、当町産有機農産物の導入について、協議を重ねていきたいと考えています　④当町では既に、地産地消に係る食農教育として、農園見学や芋掘り、学校ファームでの栽培等を行なっています。



良質な堆肥（下里地区）

細川紙製作技術を見える化へユネスコ登録後の今がチャンス

質問 伝統工芸会館の入場者が増えている。この流れを持続可能なものとするには、施設の充実が必要である。そこで、10以上ある紙すきの工程を和紙人形等で見える化、膨大な歴史資料の展示、手すき和紙体験スペースの充実、さらに地場産製品販売、飲食用の心癒す長屋建て店舗の建築等の考えは。



手狭な和紙体験スペース（伝統工芸会館）

答弁 産業観光課長
町の活性化に向け、後継者養成を進めるための体験スペースと、販売・飲食の併合施設整備は観光媒体として効果的と考えます。個人または団体等から店舗運営を行なう具体的要請が出された場合は、商工会と連携していきたいと考えます。

その他の質問

◎東小川団地活性化のために旧上野台中学有効利用は

まちづくり

町の未来像は

第5次総合振興計画で示します

具体策はないの？積極的にいこうよ！



大戸久一 議員

質問 今後大きな財政支出として、小川町駅橋上通路建設、駅南・北の周辺整備、新ごみ処理施設建設の負担金、東松山斎場の改修工事負担金等がある。一方、人口減少による税収減も考えられる。町の未来像について、財政再建を踏まえ具体的な施策は。

答弁 政策推進課長
第4次総合振興計画の施策を踏まえ、地域経済の活性化や豊かで活力あるまちづくりを進めます。人口減少、少子高齢化の進展により、公共施設規模をコンパクト化し大きな財政負担に備え、財源確保緊急対策本部にて検討し、効率的な財政運営に努めます。

7 地図をもとに時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツです。チェックポイントに到着した記録として、写真一覧と同じ風景を撮影します。

町民みなさんのひろば

わたしのひとこと



地場産業に思うこと

ホーユウパレス　田中敏男（たなかとしお）



小川町には、ユネスコ無形文化遺産に認定された細川紙というすばらしい和紙があります。

今から 71 年前、太平洋戦争末期に日本の財力が乏しい中で考案されたのが、製作費の安価な「紙でつくる気球」でした。この気球に爆弾を搭載する、いわゆる風船爆弾でした。そこで、白羽の矢が立ったのが、小川和紙と群馬県下仁田の蒟蒻糊（こんにゃくのり）でした。

そして試行錯誤の末、「雨・風・熱」に強く製作費が安い丈夫な気球が完成しました。気球づくりには、何も知らない大河国民学校の児童までもが動員されました。気球は、偏西風に乗って太平洋を横断し、米国まで飛んだという実録が残っています。こんな悲しい使われ方をされた小川の和紙ですが、小川和紙の特性や可能性を生かし、技術開発すれば気球以外にも、今後の利用価値のある地場産業に大きな希望の光が見えてくるのではないでしょうか。

マナーを守る

下小川２区　岡本貫臣（おかもとぬくおみ）



私は天気のいい日、週２～３回１時間ほど歩いていますが、残念に思うことが２つあります。

それは、ごみ集積所の中に残されている分別されていないごみ袋（指定日以外のごみが出されている）と、たばこの吸い殻が道路に捨てられていることです。

小川町では、ごみの出し方について細かく指定されています。また、たばこの吸い殻については、〝携帯用吸い殻入れ〟を持つことによって、道路に捨てられないで済みます。

どちらもマナーを守ることによって、町をきれいにしていけます。私を含め、皆さんマナーを守って気持ちのいい町にしていきましょう。

そうすることによって、小川町へ観光に来てくださる皆様にも好印象を持たれ、それがやがて、さらに元気な小川町につながることだと思います。



編集後記

昨年末、女子サッカー界のレジェンド澤 穂希選手が引退しました。現役最後となった皇后杯決勝戦では、みずからの得点でチームを優勝に導き、有終の美を飾る。すごい！ すご過ぎる!! 澤さんが与えてくれた感動と勇気を力に変えて、今年も議会報の充実に努めます。

早速、次号で驚きの展開が……

ご期待下さい。　　編集委員長 髙瀬　勉

会議録も検索できます

本会議の詳しい内容は「会議録」に載っています。下記ホームページから、会議録の検索・閲覧ができます。ぜひごらんください。

小川町ホームページ
↓
小川町議会
↓
会議録



お詫びと訂正

議会だより 77 号の５ページ及び７ページに誤りがありました。平成 26 年度の乳がん検診の受診率を 40％と記載していますが、正しくは 14％です。お詫びして訂正いたします。

議会だより おがわ No.78

小川町議会だより 78 号
平成 28 年２月１日発行
発行：埼玉県小川町議会　編集：議会広報発行特別委員会
〒 355-0392　埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地
TEL 0493-72-1221　FAX 0493-74-6877
http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo

議会広報発行特別委員会

議長	根岸　成美
委員長	髙瀬　勉
副委員長	田中　照子
委員	戸口　勝
委員	笠原　武
委員	島崎　隆夫
委員	笠原　規弘

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

２月 29 日からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。